



発行/富山市PTA連絡協議会

編集/良書をすすめる会

低学年におすすめ

おつとまちがい、さるがいて

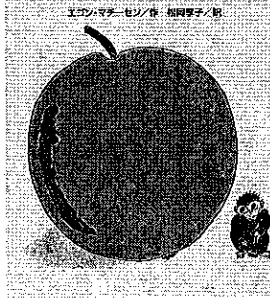
『さるのオズワルド』

エゴン・マチーセン 作
松岡 享子 訳

声に出して読むと、ほんとうに楽しめるユーモアたっぷりのおはなし。小さくてもあいきょう者の、さるのオズワルド。いばりんぼうのボスざると、いざたいけつ!!

(こぐま社 本体1,300円)

さるのオズワルド



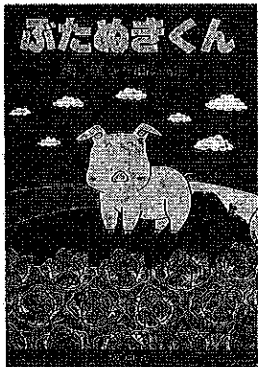
ただのぶたではないのだよ

『ぶたぬきくん』

齊藤 洋作
森田みちよ 絵

ぶたぬきくんは、のんびんだらりとしたくらしにうんざり。ある日、あやしいぶたをみつけて。ちよっとへんと思うことをおいかけていくと、すごくへんという話。

(校成出版社 本体1,100円)



きみもにんきものになれるかも

『にんきものひけつ』

森 絵都文
武田 美穂 絵

パレンタインデーにチョコレットを27こももらったこまつくん。すごい、ぼくは1こだけなのに。こまつくんには、きつとにんきものひけつがあるはず。

(童心社 本体900円)



けちなケチルさんの計画は...?

『ケチルさんのぼうけん』

たかどの ぼうこ 作・絵
おかねをためることだけが、楽しいケチルさん。何でも100倍になるふしぎな木をさがしにくくとをけっしん。

でもとちゅうには、さんぞくがまちうけていた。

(フレーベル館 本体1,200円)



こんなハーモニカがあったら!?

『ジークの魔法のハーモニカ』

ウィリアム・スタインゲ 作
木坂 涼訳

ある日、ジークの前におちてきたハーモニカ。それには、すごいひみつがあった。ひとりたびに出たジークに、つぎつぎとふしぎなことがおそいかかる。

(セーラー出版 本体1,500円)



大好きな時計の中になんか入ってまはる

『時計つくりのジョニー』

エドワード・アーディニーニ 作
あべ きみこ 訳

ジョニーは、ものをつくるのが好きな男の子。ほんものの大時計をつくらうと思立つが、みんなわらってバカにするばかり。でも、ジョニーはあきらめない。

(こぐま社 本体1,300円)



中学年におすすめ

『ぼくへの正体ってじつは…』

『ぼくにはじつがよかったらしい』
なかがわ ちひろ 作・絵
ぼくたちに、しつぽや、うろこや、しよっかくがあったなんて、信じられる？ 体のあちこちで、何億年も前の記憶が信号を発しているんだ！

(理論社 本体1,000円)



『まごのまごころはどんな世界？』

『まごをひらけば』
マルタ・カラスコ 作・絵
宇野 和美 訳
みどり色のノートのおかげで、足の悪い女の子が、空想の旅に出て、ふしぎな友だちに出会う。心のまごをひらいたら、本当に大切なものが見えてくるよ。

(ほるぷ出版 本体1,300円)



『アメリカ版 学校の怪談』

『ろうかのいちばんおくの教室は』
ダグラス・エバンス 作
清水奈緒子 訳
つくえ虫に耳虫、ふしぎなむらさき色の本、チョークの粉の魔神。あなたの学校にも、こんな奇妙で楽しいことが起きたらどうする？

(PHP研究所 本体1,300円)



『きみは「はい」を知っている？』

『どうぶつはいくあそび』
きしだ えりこ 作
かたやま けん 絵
ねーこ作のはいくをしようかいねみゆいにやら にーみやもねむにえ によーもねみゅ(ねむいから ひるま ねむって よるもねる)

(のら書店 本体1,300円)



『百万長者になりきつた男の話』

『ながいながいカメのたび』
ステイブ・サンフィールド 作
ダーク・ズイマー 絵
海ガメのスープでひともうけしようよと、男はカメを2万びきつれて大移動をした。子ガメも生まれ、数は50万びきに。苦難の末、ようやくたどりつくのだが…。

(フレール館 本体1,200円)



高学年におすすめ

『針さしの物語』

『針さしの上に残されたプローチや留め針、シヨール・ピンは退屈しのぎに不思議な話を語り合う。人間と妖精たちの幻想的な世界が広がる八つのおはなし。』

(岩波書店 本体640円)



『ちがつ自分を演じたいと思いませんか？』

『ねこかぶりデイズ』
錦織 友子 作
中釜浩一郎 絵
菜々は転校をきっかけに、おしとやかな女の子を演じようとする。そんな「ねこかぶり」の生活の中で、自分らしく生きることの意味を見い出していく。

(小峰書店 本体1,300円)



『愛と勇気と心の旅』

『はいけい女王様 弟を助けて下さい』
モーリス・グライツマン 作
唐沢 則幸 訳
弟の病気を治したい。コリンは世界一の名医を探る中で、弟にとって何が大切なのかに気づいていく。ユーモアあふれる文章で、笑いと涙をさそう。

(徳間書店 本体1,350円)



『僕が出会ったタートルの物語』

『タートル・ストーリー』
樋口千重子 著
広瀬 弦画
デイビットがただ一人の親友マモルから託されたタートル(亀)には秘密があった。不思議な亀との楽しい生活がはじまった。

(理論社 本体1,500円)



『カラスが人間の言葉を話すって？』

『満月の夜古池で』
坂東眞砂子 作
廣川沙映子 絵
「満月の夜、古池でおれたちは黒鳥になる」公園でこの言葉を聞いてから透は、カラスや黒い背広の男たちからねらわれる。

(偕成社 本体1,200円)

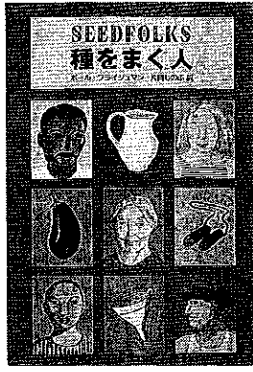


中学生におすすめ

はじまりは小さな種だった
『種をまく人』

ポール・フライシュマン 著
片岡しのぶ 訳

そこは人種がうずまく貧民街の一角だった。ある春、女の子は一粒の種を蒔いた。一人また一人と種を蒔く人が増えていき、空き地はいっつの間にか緑薫る菜園に……
(あすなる書房 本体1,200円)



伝説のヒロイン、彼女がいたから
『小川は川へ、川は海へ』

スコット・オデル 作
柳井 薫 訳

アメリカ・インディアンの少女サカジャウィアは、生まれたばかりの息子を背負い、ルイスとクラーク率いる西部探検隊に同行する。太平洋への道はみつかるとか……
(小峰書店 本体1,450円)



人間が魔物なのか、魔物が人間なのか
『鬼の橋』

伊藤 遊作
太田 大八 画

平安時代、小野篁は京都五条橋の上で、阿子那と鬼の非天丸に出会った。その橋は、あの世とこの世をつなぐ橋だった。篁伝説を下じきにした幻想物語。
(福音館 本体1,400円)



狐は人間に化身した！
『白狐魔記』

斎藤 洋作

仙人のもとで修行し、白狐魔丸となった狐。八十五年の眠りから覚めると、時は鎌倉。傲慢な武士たちが、したたかに食欲に生き抜こうとしていた。
(偕成社 本体1,300円)



少女の心の中をのぞいてみたら
『ことしの秋』

伊沢由美子 著

もう、うんざりだ。十四歳に都合よくできているものなんて、この世には何も無い。パパと暮らすヒロは、ママの新しい夫とその娘に会うのだが……
(講談社 本体1,200円)



最高のバッテリーをめざして
『バッテリーII』

あさのあつこ 作
佐藤真紀子 絵

剛腕投手の巧と捕手の豪は、中学入学を機に野球部に入る。自分の意志を貫こうとする巧、初めて人前で怒った豪。数々の事件で二人は……『バッテリー』に続く第二弾。
(教育画劇 本体1,600円)



子狼に秘められた大きな力
『ウルフ・サーガ(上)(下)』

ケーテ・レヒアイス 作
松沢あさか 訳

先祖からの掟を守り、幸福に暮らしていた狼たちが、生きてきた土地を追われる。間違えた強い力に押しつぶされそうになった時、勇気を与えてくれる本。
(福音館・上下共本体1,600円)



「MCC」謎の男は誰だ
『不思議を売る男』

ジュラティン・マコーリアン 作
金原 瑞人 訳
佐竹 美保 絵

エイルサの母の古道具店で働くことになった謎の男は、古道具の由来を、まことしやかに語る。客もエイルサ親子も、そんな彼に魅せられていく。
(偕成社 本体1,500円)



かいてこする犬？
『名犬ベッツとタンクル』

井上こみち 著

愛知県の動物医療センターに働く十二人と犬二頭のスタッフは、二十四時間対応で、毎日毎日大忙し。名犬親子は病気の動物たちをなぐさめ、はげまし、大活躍！
(実業之日本社 本体1,200円)



こんなにすばらしい収容所があった
『父の過去を旅して』

安宅 温 著

日本で初めて、あの「第九」を演奏した人たちを知っているだろうか？ 徳島の坂東俘虜収容所に集められた、ドイツ兵と日本人の交流の物語。
(ポプラ社 本体1,200円)



★☆☆☆☆ 社会科学の本 ★☆☆☆☆

自然科学の本



『ひと・どうぶつ行動観察じてん』
池田 啓文
柳生弦一郎 絵
どうぶつのはたらきには、全部わけがある。「死んだふり」「身ぶり語」「目立ちたがり」。でもひとだって、にたような行動をとっているんだよ。(福音館 本体1,300円)



『タヌキまるごと図鑑』
盛口 満 著
昔話や映画でおなじみのタヌキだけど、その暮らしはよく知らないよね。タヌキマップやグッズもあって、タヌキのことがよくわかる本。
(大日本図書 本体1,400円)



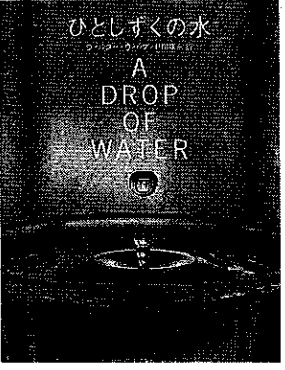
『環八雲ってどんな雲?』
塚本 治弘 著
工場の煙や排気ガス、家庭のストーブから出る大気汚染物質をしんじてできる雲がある。環状7号線上にできる環八雲もそのひとつ。そして、その雲から酸性雨が降る。
(大日本図書 本体2,200円)



『ミイラになったフタ』
スーザン・E・クインラン 著
藤田 千枝 訳
森では、動物の死体をあとかたもなく消すやつがたくさんいる。でも、あのフタにだけは手が出せなかった。どうしてフタはミイラになるしかなかったのか?
(さくら書房 本体1,300円)



『目玉かしの秘密』
城田 安幸 著
著者が注目したのは、目玉模様をさらう鳥の習性。応用されたかしの効果は絶大。でも鳥はやがて慣れてしまう。人間と鳥の知恵くらべ、そこに共存の道があった。
(筑摩書房 本体1,100円)



『ひとしずくの水』
ウォルター・ウィック 作
林田 康一 訳
高速度、接写、顕微鏡撮影などを使って描き出された水の科学的性質。その完成度の高い美しさに自然のすばらしさを、あらためて感じる事ができる本。
(あすなろ書房 本体2,000円)

良書をすすめる会では...

読む人も
読まれる本も
うれしいね



子ども読書年

今年度は子ども読書年ということで、子どもの読書環境についての関心が高まり、様々な活動が行われています。

富山市PTA連絡協議会「良書をすすめる会」は、平成9年より子どもたちに手渡したい本についての学習を重ねてきました。子どもの心と言葉を耕し、想像力を育む、そんな本を近刊書の中から学年ごとに選び、紹介しています。

是非、このリーフレットを家庭で、学校で、ご活用下さい。

ここに紹介した本は、富山市立図書館中央館・分館で借りることができます。

良書をすすめる会委員

- 委員長 堀地はるみ (附属中)
- 副委員長 堀 幸子 (東部小)
- 〃 竹内 勤子 (新庄小)
- 〃 山之上孝子 (清水町小)
- 〃 西幸 尚子 (藤ノ木小)
- PTA連担当 伊東 素子 (市P連)
- 会計 竹森 圭子 (附属小)
- 〃 田中 美弥 (附属中)
- 委員 浅沼 智子 (西田地方)
- 〃 荒川 奈緒 (西田地方)
- 〃 石井 知子 (奥田小)

- 委員 石川千佳子 (呉羽中)
- 〃 石倉 美子 (三成中)
- 〃 稲葉 遵子 (附属中)
- 〃 上野 正子 (西田地方)
- 〃 江藤 裕子 (山神小)
- 〃 太田 正博 (堀川小)
- 〃 大西裕美子 (堀川小)
- 〃 岡田 雅子 (附属中)
- 〃 奥村 悦子 (附属中)

- 委員 呉羽まゆみ (東部中)
- 〃 後藤千代子 (南部中)
- 〃 坂井 祐子 (清水町小)
- 〃 佐田 和子 (南部中)
- 〃 関所 和子 (堀川中)
- 〃 高野 知代 (芝園中)
- 〃 宝田 智子 (附属小)
- 〃 田辺ひろみ (奥田小)
- 〃 田縄りつ子 (呉羽中)

- 委員 都倉 ふみ (西田地方)
- 〃 富田 純子 (堀川中)
- 〃 中村 純子 (清水町小)
- 〃 布村登実子 (奥田北小)
- 〃 浜多 智子 (附属小)
- 〃 藤野 恵子 (西田地方小)
- 〃 藤村美穂子 (堀川小)
- 〃 舟本こずえ (附属中)
- 〃 松村 裕子 (愛宕小)
- 顧問 高田 重信 (大泉中)
- 〃 蓮池 泰洋 (市P連)